

公開質問状
「食用油の原材料について」

質問① 貴社はホームページにて原材料とその原産国を公表され、原材料については非遺伝子組み換えであると明らかにされていますが、いつから非遺伝子組み換えの原材料を使用していますか。

当社は創業以来GMナタネを取扱っていません。
1997年まではカナダ産ナタネを使用していたが、カナダがGMOに移行してからは西オーストラリアのNON-GMナタネを使用しています。

質問② 産地から貴社製造工場までの、原材料の管理・輸送方法をお答えください。

産地(西オーストラリア)での分別、輸送船舶(コンテナ)及びナタネの収納サイロ(糧流)を含めすべてEPハンドリングを行っています。したがってGMナタネのコンタミはありません。

質問③ 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えの原材料に変更する予定はありますか。予定の有無とともに、時期とその理由をお答えください。

今後、GMナタネに変更する予定はありません。

質問④ 非遺伝子組み換えの原材料の入手が年々困難になっているという実感の有無、また遺伝子組み換えの原材料と比べたときの価格の違いがどの程度か、といった点について、差し支えない範囲でお答えください。

オーストラリアでも2008年よりニューサウスウェールズ州、ビクトリア州でGMナタネの栽培が始まり、西オーストラリアでも2010年から栽培が始まりました。そして現在も各州とも10数パーセントがGMナタネに切り替えています。

当社では2011年より西オーストラリア州フレイム地区(殆んどNON-GMナタネ栽培)のナラカン社と契約し、安定した仕入れの確保に努めています。他にクスマニア、カンガルー島からの仕入れもしていますが規模が小さいため不安定な仕入れの一部にとどめています。価格については当然の事ながら年々上昇傾向のプレミアム価格となっています。